

山里川海の一体保全に寄与することを目的に、一般社団法人グリーンバナー推進協会は大自然のなかや一次産業の現場で調査や保全活動を続けております。その現場から、特に気になるトレンドや現象を連続レポートでリアルにお伝えしたいと思います。第5回目は「植樹にひと工夫」をテーマに現場の姿と声をお届けします。



静岡県河津町で2月上旬に行われる「河津桜まつり」

## 桜といえばソメイヨシノという常識に変化が起こってきています

記念植樹の定番といえる桜ですが、桜の品種にこだわれば観光や市民の交流活性化にもっと効果が上がるかもしれません。

上の写真は静岡県河津町で毎年の人気行事になっている「河津桜まつり」です。品種は、早咲きのオオシマザクラ系とヒカンザクラ系の自然交配種と推定され、1955年頃に偶然発見された桜の苗を増殖したものです。2月上旬に満開になる早咲きの河津桜は、一足早い花見を楽しめるとあって県外からも多くの観光客が訪れます。河津桜は寒さに強いだけでなく、静岡県大島に咲くオオシマザクラ系の遺伝子をもつため塩分の強い海風にも強いので、海岸沿いに植樹しても定着しやすい特性を持っています。海岸線に河津桜を植樹すれば新しい名所づくりにつながるかもしれません。

## 宇宙桜を知っていますか？

2008年に宇宙の文化利用という新しいジャンルを創造するため、全国各地の桜の種子（13地域14品種）を宇宙に運び宇宙線を浴びさせる実験が始まりましたが、この「宇宙桜」が各地で咲き始めています。若田光一宇宙飛行士とともにスペースシャトル・エンデバーで宇宙に旅立った桜の種が、国際宇宙ステーション「きぼう」に8ヶ月半滞在したのが最初です。今では東京の渋谷から淡路島まで幅広い地域に咲くようになり、いずれは繁殖して名所になるかもしれません。



岐阜市の「宇宙桜」は種を蒔いてから花が咲くまで通常10年かかる品種が4年目で咲きました。宇宙線の影響ともいわれていますが、現段階では原因が学術的に明確にはなっていません。



左の写真は、和歌山市加太で行われた植樹祭の様相です。苗を買ってくるのではなく、地域土着の桜の種を発芽させて植樹する手間をかけることで、地域への愛着を喚起しようという試みです。市長自らが1本目を植樹して、以降毎年続けています。また、加太の植樹祭では間伐も同時に行い、地元の高校生らが多数ボランティアで参加しています。

## 街路樹をひとつの樹種ではなく雑木にすることで街に森を作る

道路やビルの外構に植えられている木は、ケヤキやイチョウやツツジなど特定の樹種に限られているのが一般的です。かかる手間の大小や風雪への強さ、また公的予算が出やすいなど様々な理由があっただけでなく、敢えて樹種を多彩にして美しい森を連想させるような雑木の街を作って成功した事例があります。下の写真は、熊本県阿蘇市の一ノ宮門前町商店街です。約20年前に観光客がほとんどいない商店街を盛り上げようと地域の若手の方々が立ち上がり、隙間をみつけてはサイズに見合った樹種を選んで植樹するというのを続けた結果、ご覧のようにユニークで美しい街並みが出来上がりました。商店街を訪れる観光客も年間30万人を超えるようになりました。

今では、個人の家を「雑木の庭」にする人も増え始めました。街路樹やビル外構から個人宅まで、雑木が増えることで森が街に広がるようになれば、鳥や蜂や蝶など豊かな生態系が街に生まれるかもしれません。



阿蘇市の一ノ宮門前町商店街。住民が誇れる商店街になり、観光客も大幅に増えました。ビルの外構のわずかなスペースでも樹種を選べばよく育ち、街並みが一変していきます。（写真出典：高田造園設計事務所）

高田造園設計事務所・高田宏臣さんが手がけた雑木の庭。高田さんは著書も多く、雑木の庭を広める伝道師の役割を果たしています。

## アジサイは落葉広葉樹で美しく堆肥化も早い

植樹祭というと、大型の樹種の苗を植えるイメージが強いかもしれませんが、和歌山市加太では、観光客が少なくなる梅雨の時期に大きな花を咲かせるアジサイの植樹を12年間続けています。

アジサイは実は落葉広葉樹で、毎年あの大きな葉を育てて枯れ落とすため栄養ある堆肥になる効率が高いことに目をつけたからです。既に植樹した数は5,000本に達しており、アジサイの名所として毎年多くの観光客が足を呼んでくれ、その裏で川や海に大切な養分を供給してくれるので大変有難い植物といえます。

漁協や観光協会が中心となって、森で間伐と植樹と堆肥づくりを長年継続して実行し、その恩恵である海の幸を観光客に食べていただく。このサイクルを12年間続けたことがきっかけのひとつとなり、和歌山市加太に今夏に「東京大学生産技術研究所 川添研究室 加太分室」が開設されました。エコロジーを新しい切り口で取り入れた建築などで有名な川添善行准教授がリーダーとなり、歴史ある港町の課題解決について実践的な研究を行うことが目的です。豊かな自然を守り、それを地域経済に生かすことで未来に存続できる街づくりを目指しています。



アジサイは挿し木で増殖します



ハイキングコースの路肩に咲き並ぶアジサイ



自民党・二階幹事長からも表彰